

■ 4月～7月の予定

月	日	曜	内 容		主 催
5	17	金	シンポジウム (午後 13:00～15:00) アオーレ長岡 市民交流ホールD	議題「ふぁーれ開設4年間の軌跡と今後の 地域生活支援を考える」	長岡希望の会(家族会)
5	31	金	希望の会福祉会総会 市民協働センター 第1・2・3協働ルーム	平成30年度 事業報告 平成31年度 事業計画(案)	NPO 法人 希望の会福祉会
7	2	火	講演会 (13:30～) 新潟ユニソンプラザ 多目的ホール	精神保健福祉フォーラム 演題「精神に「障がい」のある人とその家族 が自分らしく生き活きと暮らせるために」 講師 京都ノートルダム女子大学 准教授 佐藤 純 氏	新潟県 精神障害者家族会連合会

■ 寄贈御礼

明治安田生命保険相互会社 長岡支社様より
企業行動方針の取り組みの社会貢献活動の一環
として下記のご寄付をいただきました。

■ エプロン 5枚

希望の家で食品関連の作業の際に大切に使用させ
ていただきます。ありがとうございました。



■ インフォメーション

■ 賛助会員入会のおねがい

賛助会員になっていただけませんか。
当法人の活動に興味を持って、賛同してくださる方。ぜひ、入会をお待ちしています。
年会費：一口 3,000 円



■ 長岡しょう油おこわの注文承ります

ご家庭のお祝いごと、ご進物などに「長岡しょう油おこわ」はいかがですか。
インゲン豆・鶏ごぼろ・舞茸・五目の4種類を取り揃えて、ご用命をお待ちしています。
ぜひ、一度ご賞味ください。＜詳しくはホームページをご覧ください。電話注文もOKです。＞

[編集後記]

新しい年号(令和)が5月1日より始まります。当法人も新しい職員を3名迎え、
新たな気持ちで新年度を始めたいと思います。

桜の開花も例年に比べると早いようです。桜にもたくさんの種類がありますが、桜全般の花言葉は
「精神の美」だそうです。桜のように美しい心を持ち続けたいものです。

編集委員：森田、高橋、矢尾板、小宮、佐藤、山田

沈黙考～平成の終わりに～

希望の会福祉会通信

～ 一歩ずつ 未来へ ～

理事長 森田直子

平成18年に障害者自立支援法が制定し、その後、障害者総合支援法に改正され、障害者の福祉サービ
スは大きくパラダイムシフトして、激動の平成が終わります。

現実が適応しきれないうちに仕組みがいつの間にか変わっていて、どこに向かっているのか視界は薄闇
に包まれています。

草の根的な運動により、必要性から産まれた作業所は、現在就労継続支援事業B型に移行、「就労系事
業所」と括られ、工賃を上げることが運営の安定に直結するため、多くの事業所では、個々の利用者
とゆっくりかかわる余裕がなく、スタッフは作業に悪戦苦闘しています。

県内の研修会でも、「作業に追われ支援ができない」スタッフの悩みを耳にしますが、本末転倒と言わ
ざるを得ない状況が散見されます。

「就労」＝「自立」という考え方にとらわれず、働かない生き方も含めてその人が自分のライフス
タイルを選ぶことが大事で、地域の中に根を張って生きることを支えるのが私たち支援者の役割などとい
う考え方は、最早過去の郷愁？

法人の矜持にかけて、そこにこそ精神障害者支援の意義はあると言いたいものです。

中井久夫氏という精神科医が、「世に棲む患者」の論文で、「私はいわゆる社会復帰には二つの面がある
と思う。一つは職業の座を獲得することであるが、もう一つは世に棲む棲み方、安定したライフス
タイルの獲得であり、後者のほうがより重要であり基礎的である……」

この論文を読んだのはもう30年以上前ですが、私の職業倫理を支えている言葉です。(ちなみに中井
久夫全集がみすず書房から刊行されています)

さらに中井氏の論文は精神障害者の生活は、基地から枝を伸ばしていく
「オリヅラン型のパターンである…」と、続きます。

私たちの事業所が「基地」になりえているか、そこから一人一人が
生活の枝を伸ばしているか、今改めて、問われるときなのかもしれ
ません。



オリヅラン

3月2日(土) 希望の家・のぞみの家家族会 開催

〈希望の家〉

12名のご出席をいただきたくさんの情報交換が行われました。

ご家族の方からは、

- ・将来は、兄弟がいるので仲良くやってくれることを期待している。
- ・通所するようになって色々話をできるようになり、自分でできることも増え嬉しい。
- ・同じ境遇の中で分かり合えることも多い。まずは親が楽にならないと始まらない。
- ・介護や家事で精一杯になってしまい生活が安定しない。

それが影響になっているかもしれない。

などの声が聞かれました。



〈のぞみの家〉

のぞみの家では、参加された方々に施設内の見学をしていただき、普段の作業内容や活動を説明させていただきました。また、茶話会ではお互いの情報交換やご自宅での様子などを聞く貴重な機会となりました。

皆様、お忙しい中ご参加くださいまして大変ありがとうございました。

3月18日(月) 3施設合同行事ボウリング大会「第2回森田カップ」開催

〈結果〉

- 1位 三上さん(ふぁーれ)
- 2位 小坂井さん(〃)
- 3位 小柳さん(〃)
- 7-位賞 國松さん(希望の家)
- 当日賞 樋口さん(〃)



〜感想〜

なんとか司会が終わってよかったです。

みなさんが楽しくプレーしている姿がよかったです。

希望の家メンバー MA

平成最後の森田カップボウリング大会に出場しました。3施設合同ということで人数がたくさんいました。景品も出ることもあってか盛り上がり、楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。お疲れ様でした。

のぞみの家メンバー (N)

私とボウリングとの出会いは中学生の時です。第一次ボウリングブームで1ゲーム80円の時代でした。中山律子プロに憧れテレビでトーナメントをよく見ていました。20年のブランクがありましたが、案内を見て喜んで参加させていただきました。ふぁーれメンバー 三上さん

「ほほえみ号でピアサポート交流に行ってきました」

※ほほえみ号とは、在宅の心身障害者の社会参加を進めるためのリフト付きバスです。いっぽの会の交流会などの移動手段のため、長岡市に申請し、申請が通りました。



3月22日にピアサポート交流会がありました。今回の交流会は、上越にある夕映えの郷さんで行いました。いっぽの会のメンバー8名でお邪魔しました。

夕映えの郷では、施設見学もさせていただきました。就労継続支援事業B型の作業所を見学しました。おしぼりの作業を行っていました。交流会は上越のピアサポートグループ「ぷちピア」さんとお茶を飲みながら、自己紹介をしてお互いのピア活動の理解を深めました。

感想として…いっぽの会はこれからメンバーが中心になって、ほほえみ号の利用をしていきます。個々が役割を持って今年度から活動していきます。それによって、ピア活動で成長していけると思います。また、交流会を重ねて、いろんな人に出会っていきたいです。その中で一緒に活動していく仲間とかけがえのない時間を過ごしたいです。

いっぽの会 大野恵子



〜春から職員の動きがあります〜

退職者挨拶

希望の家 支援員 吉田彩花

希望の家でお世話になって5年が経ちました。振り返ると本当にあっという間で楽しい思い出ばかりでした。またどこかでお顔を合わせることがあるかもしれませんが、その時はどうかよろしく願いいたします。5年間本当にありがとうございました！

希望の家 支援員 佐藤文子

2年という短い期間でしたが、みなさまには大変お世話になりました。希望の会での日々は私にとって、大切な宝物です。ありがとうございました。

新入職員紹介

希望の家 高城一恵

のぞみの家 広島聡子

ふぁーれ 鈴木道代



イラスト ふぁーれ池津さん